

平成26年度 長崎ゆかりの文学展〈第2回企画展〉

原爆文学展

長い時間をかけて多彩に深く展開する「長崎の原爆文学」作品を紹介し、関連資料を展示します。

林 京子

佐多稲子

福田須磨子

山田かん

竹山 広 などの貴重資料や著書



福田須磨子詩碑（爆心地公園横）

被爆体験記『雅子斃れず』（石田雅子著）の関連資料を展示

平成26年 **7月8日(火)～8月30日(土)**

長崎県立長崎図書館 4階郷土資料展示室

開館時間／9:30～17:00 休館日／毎週月曜日及び月末日

展示説明会／7月8日(火) 14:00～14:15

主 催／長崎県立長崎図書館

後 援／長崎新聞社 西日本新聞社長崎総局 朝日新聞社 毎日新聞長崎支局 読売新聞西部本社
NHK長崎放送局 NBC長崎放送 KTNテレビ長崎 NCC長崎文化放送 NIB長崎国際テレビ
長崎ケーブルメディア エフエム長崎

入 場 無 料

長崎県立長崎図書館

長崎市立山1-1-51 ☎095-826-5257
<http://www.lib.pref.nagasaki.jp>

第32回(平成26年度第2回)県立長崎図書館講座のご案内

入場無料・申し込み不要

講演「六九年目の『長崎・そのときの被爆少女』-『雅子斃れず』新資料などを紹介しながら」

講師 横手 一彦氏(長崎総合科学大学教授) 7月26日(土) 13:30～15:30 2階講堂

主な展示資料 ◇は初公開

	資 料 名	編 著 者 名	出 版 者	出版年	備 考
1	原爆の長崎 上野誠平和版画集	上野誠	新宿書房	1970	上野誠は長野市出身の版画家。
2	[直筆原稿] 祭りの場	林京子	—	—	
3	[直筆色紙] 風と光 平成二十三年十二月二十三日 林京子 長崎県立長崎図書館創立百周年記念企画 長崎ゆかりの文学展に寄せて	林京子	—	2011	
4	祭りの場 (芥川賞・群像新人賞受賞) (著者サイン入り)	林京子	講談社	1975	
5	ギヤマンビードロ	林京子	講談社	1978	
6	やすらかに今はねむり給え (谷崎潤一郎賞受賞)	林京子	講談社	1990	
7	長い時間をかけた人間の経験 (野間文芸賞受賞)	林京子	講談社	2000	
8	希望 講談社文芸文庫	林京子	講談社	2012	
9	「再びルイへ。」 群像 第68巻第4号/2013年4月号	林京子	講談社	2013	
10	長崎新聞「ながさき人紀行」平成22年8月7日	—	長崎新聞社	2010	
11	[直筆原稿] 作品で結んだ故郷との縁	佐多稲子	—	—	「あとや先き」中央公論社刊(1993年)に所収。
12	[直筆原稿] 三十三年後の八月の空	佐多稲子	—	—	昭和53年8月9日朝日新聞に掲載。
13	樹影 (野間文芸賞受賞) (著者サイン入り)	佐多稲子	講談社	1972	
14	佐多稲子「樹影」文学碑芳名録・経過報告	佐多稲子「樹影」文学碑建立委員会	佐多稲子「樹影」文学碑建立委員会	1985	
15	色のない画	佐多稲子	(新日本文学掲載)	1961	
16	私の長崎地図	佐多稲子	五月書房	1949	
17	時に佇つ (川端康成文学賞受賞)	佐多稲子	河出書房新社	1976	
18	小さい山と椿の花	佐多稲子	講談社	1987	
19	群像 第23巻第11号/昭和43年11月 「長崎の傷痕」	佐多稲子	講談社	1968	
20	凜として立つ 佐多稲子文学アルバム	佐多稲子研究会	菁柿堂	2013	
21	[直筆原稿] 原子野の中のひとりごと	福田須磨子	—	—	
22	[直筆原稿] 詩集「烙印」	福田須磨子	—	—	
23	[写真] 福田須磨子詩碑 (爆心地公園・須磨子忌)	—	—	—	
24	福田須磨子詩碑	福田須磨子詩碑建立委員会	福田須磨子詩碑建立委員会	1975	
25	福田須磨子忌の集い 第39回(没後40回忌)	—	長崎の証言の会	2014	
26	ひとりごと 詩と随想	福田須磨子	長崎生活をつづる会	1956	
27	われなお生きてあり(田村俊子賞受賞)	福田須磨子	筑摩書房	1968	
28	原子野に生きる	福田須磨子	汐文社	1989	
29	ぎんなん人形(須磨子作)	—	—	—	

30	テーブルクロス(須磨子作)	—	—	—	
31	[直筆はがき]山田かん発 竹山広宛 平成14年10月8日消印	山田かん	—	—	
32	記憶の固執 山田かん詩集・エッセイ集	山田かん	長崎文献社	1969	
33	ナガサキ・腐蝕する暦日の底で	山田かん	長崎の証言刊行 委員会	1971	
34	アスファルトに仔猫の耳 詩集	山田かん	炮岬社	1975	
35	長崎・詩と詩人たち 反原爆表現の系譜	山田かん	汐文社	1984	
36	長崎原爆・論集	山田かん	本多企画	2001	
37	長崎県の現代詩史	山田かん	長崎新聞社	2007	
38	山田かん全詩集	山田かん	コールサック社	2011	
39	山田かん没後10年記念誌 海 15号	高塚 かず子	高塚 かず子	2013	
40	[直筆原稿] 軍艦ありき	竹山広	—	—	「現代短歌雁 第52号」2002年5月 雁書館刊に所収。
41	[直筆色紙] くらぐろと水満ち水にうち合へる 死者満ちてわがとこしへの川	竹山広	—	—	「とこしへの川 竹山広歌集」に所収。
42	[直筆色紙] 爆心のゆふぐるる碑に對ひ立つ 青年よ空を見ずに去るのか	竹山広	—	—	「千日千夜 歌集」に所収。
43	[直筆資料] 竹山広 創作ノート	竹山広	—	—	
44	とこしへの川 竹山広歌集	竹山広	雁書館	1981	
45	千日千夜 歌集	竹山広	ながらみ書房	1999	
46	竹山広「全歌集」(齋藤茂吉短歌文学賞・ 詩歌文学館賞受賞)	竹山広	雁書館	2001	
47	眠ってよいか 歌集(現代短歌大賞受賞)	竹山広	ながらみ書房	2008	
48	地の世 歌集	竹山広	角川書店	2010	
49	西日本新聞「居合はせし人 歌人竹山広の伝言」	—	西日本新聞社	2012	
50	[直筆原稿] 雅子斃れず(個人蔵)	石田雅子	—	—	
51	[直筆原稿] 永井博士を訪ねて(個人蔵)◇	石田雅子	—	—	表現社版「雅子斃れず」に所収。
52	[直筆はがき] 石田雅子発 石田壽宛(個人蔵)	石田雅子	—	—	石田壽は雅子の父。
53	[直筆原稿] 著者へ(個人蔵)◇	永井隆	—	—	表現社版「雅子斃れず」に「序にかえて」として所収。
54	[直筆書簡] 永井隆発 石田雅子宛(個人蔵)	石田雅子	—	—	表現社版「雅子斃れず」に所収。
55	[直筆原稿]「雅子斃れず」序文(個人蔵)	山本千里	—	—	山本千里は県立長崎高等女学校長。婦人タイムズ社版「雅子斃れず」に所収。
56	[ポスター]婦人タイムズ社版「雅子斃れず」・ 表現社版「雅子斃れず」(個人蔵)	—	婦人タイムズ社 表現社	—	
57	「東福新聞」No.198号・200号・215号(個人蔵)	石田穰一	東福石田新聞社	—	「東福新聞」は雅子の兄・石田穰一が発行した家庭新聞。
58	雅子斃れず 長崎原子爆弾記	石田雅子	婦人タイムズ社	1949	
59	雅子斃れず 改訂版再版 長崎原子爆弾記	石田雅子	表現社	1949	
60	三人の母	柳川雅子	智書房	2003	柳川雅子は旧姓石田雅子。

会期中に入替があります。